

別室、タブレット端末、ＳＣなどによる、不登校生徒への対応について

不登校生徒の状況

当該生徒は、中学校入学時には通常どおり登校していたが、友人トラブルや学習に対する不安があることから、自信がない様子が多く見受けられた。1学期から欠席が続いていたが、校内別室における支援を行うことで、登校復帰をすることができた。

具体的な取組

○不登校生徒への対応の充実

- ・別室対応の環境を整備

空間にゆとりがあり、各生徒のペースに応じて学習できる教室を整備した。

- ・多くの教員と関わる

加配教員以外の教員や、地区独自の教育活動支援員と、多く関わりをもち、当該生徒にとっての支援体制を強化した。



○タブレット端末を活用した支援

- ・タブレット端末の自宅での利用

不登校生徒を含め、必要に応じてタブレット端末を自宅でも活用できるよう、校内で運用方法を工夫した。

- ・アプリケーションの活用

タブレット端末のアプリケーションのタイムライン機能を用いて、教員と生徒のやり取りを可能にした。

○校内体制の整備と強化

- ・校内研修の企画と実施

不登校に関する校内研修を実施した。

- ・不登校対策支援委員会の開催

ＳＣや加配教員を含めた支援会議を定期的に開催した。



○ＳＣによる定期的なカウンセリング

学習に対する不安の気持ちを言葉で表現したり、進路決定に向けた相談をしたりする機会を設けることで、進路選択をする幅を広げた。

成果

- ・当該生徒が、担任等の教員と関わる時間が増え、安心して登校できるようになった。
- ・進路に向けての準備を頑張りたいという当該生徒の思いが大きくなり、校内別室登校に前向きな様子も見られるようになった。

課題

- ・別室支援を継続的に充実させるための人材の確保
- ・居場所づくりや絆づくりの未然防止策の充実